

【NEWS RELEASE】

2019年1月30日

各位

 株式会社三井住友フィナンシャルグループ
 株式会社三井住友銀行

三井住友銀行によるインドネシア・PT Bank Tabungan Pensiunan Nasional Tbkの
 株式追加取得及びインドネシア三井住友銀行との合併について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：國部 毅 以下、グループを総称して「SMBCグループ」）、株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、インドネシアにおける持分法適用関連会社バンク・タブンガン・ペンシウナン・ナショナル（PT Bank Tabungan Pensiunan Nasional Tbk（頭取：Jerry Ng 以下、「BTPN」））と連結子会社インドネシア三井住友銀行（PT Bank Sumitomo Mitsui Indonesia、社長：宮川 和久）について、2018年8月2日付プレスリリース「インドネシア・PT Bank Tabungan Pensiunan Nasional Tbk とインドネシア三井住友銀行の合併に関する進捗について」にてお知らせしておりました通り、BTPN とインドネシア三井住友銀行の合併（以下「本件合併」）について準備を進めてまいりましたが、本日、合併に先立ち、三井住友銀行による BTPN の株式追加取得（連結子会社化）を完了しましたので、お知らせいたします。また、本件合併の効力発生日は、2019年2月1日となります。

1．本件合併の背景・目的

SMBCグループは、中長期的な目線でアジアの成長を捕捉する戦略として、インドネシアにおけるマルチフランチャイズ戦略に取り組んでまいりました。

今般、2013年に出資した BTPN とインドネシア三井住友銀行の合併を通じて、ホールセール・リテール業務を一つの銀行で手掛けるフルラインの商業銀行を展開し、お客さまに対してより幅広い金融サービスをご提供できる体制を構築してまいります。

2．本件合併の要旨

（1）効力発生日

2019年2月1日

（2）合併の方式

本件合併は、BTPN を吸収合併存続会社とし、インドネシア三井住友銀行を吸収合併消滅会社とする吸収合併の方式にて行われます。

（3）合併に係る株式取得および割当の内容

本件合併に先立ち、BTPN の株主より普通株式 3,334,326,344 株を価格 1 株につき 4,282 ルピア（総額 14.3 兆ルピア、1,085 億円相当）で取得します。また、本件合併に際し、三井住友銀行が保有するインドネシア三井住友銀行の株式の対価として、BTPN の普通株式 2,261,870,050 株を受領します。割当および株式取得の結果、三井住友銀行は BTPN の発行済株式数の 97.34%を保有することとなり、BTPN は SMBCグループの連結子会社となります。

3. 新銀行の概要

本件合併を機に BTPN はフルラインの商業銀行ビジネスに転換することを踏まえ、2019 年 2 月 1 日をもって、新銀行の商号を従前の PT Bank Tabungan Pensiunan Nasional Tbk から PT Bank BTPN Tbk に変更し、ロゴには新たに S M B C マークを追加いたします。

商号	PT Bank BTPN Tbk
ロゴ	
設立年	1958 年
所在地	Menara BTPN, 29th Floor, CBD Mega Kuningan Jl. Dr. Ide Anak Agung Gde Agung, Kav. 5.5-5.6, South Jakarta 12950, Indonesia
株主構成	三井住友銀行 97.34%、一般株主 1.49%、自己株式 1.17%
代表者	取締役社長 Ongki Wanadjati Dana
事業内容	商業銀行業務
従業員数*	19,649 名
拠点数*	796
総資産*	189 兆 9,000 億ルピア (約 1 兆 4,000 億円)

(* 2018 年 12 月末時点・2 行合算ベース)

以 上